

《特集》

ワーク・ライフ・バランスを考える…2

市政ダイジェスト…6

《市長コラム》外国人人材の活用…7

《ちょっと注目》突然の大雨、そのときあなたはどうか命を守りますか…8

浜松地域遺産 第二期 募集中…9

《三遠南信ふれあいウォーク》夏休みは竹島水族館へ♪…10

《はままつドレミファソラシ》…34



【今月の表紙】

子育て中の人でも安心して仕事ができる環境づくりに取り組む(株)第一印刷
いろいろな働き方ができれば、仕事の効率が上がったり、生活が充実したり、会社と働く人のお互いにメリットがあります。今回の特集は仕事も私生活も充実した豊かな暮らし、そしてより良い社会を実現するための一例を紹介します。

市役所のどこへ電話したらよいか分からない場合
市民コールセンター ☎053-457-2111

浜松市ホームページ
<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

浜松市公式フェイスブック「いいら!!」
<http://www.facebook.com/hamamatsu.iira>

区役所総合案内

(中区役所は市民コールセンターと共通)

- 東区役所 ☎424-0111
- 西区役所 ☎597-1111
- 南区役所 ☎425-1111
- 北区役所 ☎523-1111
- 浜北区役所 ☎587-3111
- 天竜区役所 ☎926-1111

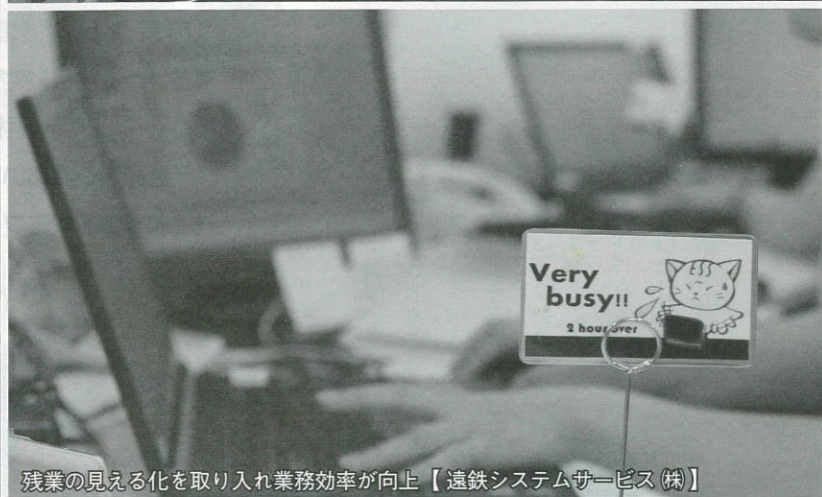


誰もがやりがいや充実感を持つていきいきと働くために――。
 そして、誰もが子育て・介護の時間や地域活動など仕事以外の生活を充実させるために――。
 大切なことって何でしょうか。
 「仕事」と「生活」の「調和」をとるために大切なこと、一緒に考えてみませんか。

ぬくもりあふれる職場づくりでサービス向上【(株)長坂養蜂場】



従業員同士のコミュニケーションが自慢【(有)益山】



残業の見える化を取り入れ業務効率が向上【遠鉄システムサービス(株)】



特集
 これが私の働き方――
ワーク・ライフ・バランス
 を考える

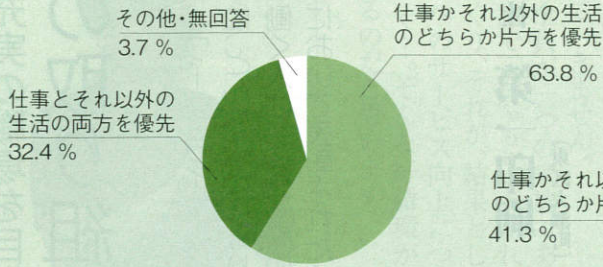
ワーク・ライフ・バランスとは？

「仕事(ワーク)」と「生活(ライフ)」の「調和(バランス)」がとれた状態にあることです。
 年齢、性別を問わず全ての人が、それぞれの希望や実状に合わせて、仕事と仕事以外の生活(家庭や地域での活動、趣味や個人の時間など)のどちらにもやりがいや充実感を感じられるライフスタイル(生活様式)のことを言います。
 また、企業と働く人が、一緒になって良い会社になるように努力をして、働き方の改善を自主的に取り組むことも意味します。

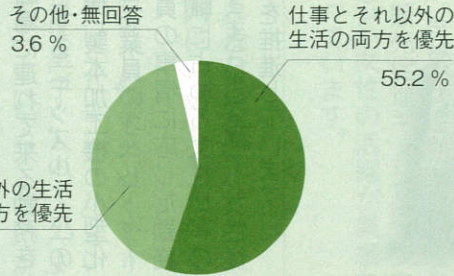


仕事とそれ以外の優先度について…

Q. 現状に近いものは？



Q. 理想に近いものは？



〔平成28年度 浜松市の男女共同参画に関する市民意識・実態調査〕の結果から抜粋
調査対象: 浜松市内に住む男女 2,500人
調査期間: 平成28年11月1日～11月15日
有効回答率: 48.4%



ワーク・ライフ・バランスの理想と現状

皆さんの「理想の生活」とはどのような生活でしょうか。
平成28年度に市が実施した市民意識調査では「ワーク・ライフ・バランスがとれた生活が理想」と答えた人が過半数を占めています。

その一方で「現状」についての設問では「家庭生活もしくは仕事を優先している」という回答が過半数を占めています。現実的には「ワーク・ライフ・バランス」がとれた生活が実現していない傾向が見られます。

ワーク・ライフ・バランスは企業の「経営戦略」

近年の人口減少に伴い、今、企業間で労働力を取り合う状況です。働く人は、仕事も生活も充実させられる会社を選ぶ傾向にあります。企業にとって、ワーク・ライフ・バランスの推進は労働力の確保のために重要なことなのです。
また、働きやすい職場は、企業のイメージアップにつながります。ワーク・ライフ・バランスを推進することそのものが、企業の「経営戦略」の一つとなっているのです。

それぞれのバランスを尊重

「ワーク・ライフ・バランスがとれている状態」というのは人によって違い、人生の段階によっても変わります。また、高齢者や障害のある人、病気の人も含めて、あらゆる人が活躍できるように「多様な働き方」を考える必要があります。

取り組む上では、ただ「残業を減らす」「休みを増やす」というよう

ワーク・ライフ・バランスが求められる背景と実現のために大切なことをお聞きしました。

今や、「ワーク・ライフ・バランス」はあたりまえに求められる時代です



働き方改革というと、企業が主体となって取り組んでいくものというイメージがありますが、働く側の皆さんも「どうしたら今よりも効率よく仕事ができるか」を意識することは大切なことです。
職場のみんなが意識を持ち、足並みをそろえて考えることで、ワーク・ライフ・バランスを実現できる働きやすい職場を目指していきるのではないのでしょうか。

「働き方」は、みんなで考える

な一つの考え方にとらわれるのではなく、その人にとって最適な働き方を尊重できる環境を整えることが大切です。



社会保険労務士法人 村松事務所
所長 村松 貴通さん

事業所の取り組みを紹介します

ワーク・ライフ・バランスの実現のために、事業所では実際に、どんなことに取り組んでいるのでしょうか。また、そこで働く人は、どんな思いを持っているのでしょうか。認証制度※において表彰された4事業所の取り組みを紹介します。



株式会社 第一印刷

(東区大瀬町)

子 供を職場に連れて来る勤務を可能とする「キッズルーム」の設置、印刷機・製本加工機の小型化による女性従業員のオペレーター従事、従業員の事情に応じた勤務体系、管理職に占める女性比率の高さなど、さまざまな面で、女性従業員の活躍を推進しています。



代表取締役

田中 一兆さん

職場を出れば、生活がある 必要な時は、休める環境が大切

私たちの会社は女性が多く、結婚・出産などを経ても女性が続けて活躍ができる職場環境が必要だと思っています。仕事では、男女の区別なく活躍をしていますので、仕事の量なども変わりません。職場に設けた「キッズルーム」は、子育て中の従業員でも安心して働くことができる工夫の一つです。

また、必要な時に休みが取れるよう、仕事のそれぞれ達成度を誰もが見えるようにしています。「仕事と休みのバランスを取って目標に到達する」ということを、みんなが理解することで、休みが取りやすい環境をつくりました。

さらに、工場では、休む人の作業を他の人が補えるようにしています。営業では、出先から会社と連絡し、社内での仕事を進める分業制にすることで、一人だけが残業にならないように工夫しています。ただ残業をしないようにして早く帰りましょうというだけでなく、どうしたら、みんな早く帰ることができるかという点を考えています。

◎働く人にインタビュー(株第一印刷)



大見 里美さん (旧姓:田中)
優人さん

理解し合える職場は安心ですね

子供の保育園のお迎え時間の後に、もう少し仕事をしておきたいなというときは、職場に子供を連れて来て仕事をしています。

職場には子育て中の人が多く、急ぎの仕事があるときに、どうしても子供の預け先がないという人もいます。だから、職場に子供がいることには、皆さん抵抗がなく、子供を連れて来やすい環境ができています。職場の皆さんも子供のことを温かく見守ってくれていますよ。

家庭での生活があることは理解し合っていますから、お互いに協力して仕事ができます。仕事以外の生活も両立できる環境が根付いていて、自分も休みが必要な時には協力してもらえると安心感がありますね。



▲事務室内に設置されたキッズルーム

※浜松市ワーク・ライフ・バランス等 推進事業所の認証制度

平成28年度から開始した制度です。市内で、仕事や生活の場における、あらゆる活動を、自ら希望するバランスで実現できる職場環境の整備や、それに対する取り組みを行っている事業所、女性の活躍を推進している事業所を認証します。第1回は、平成28年9月から10月の間に応募があった事業所の中から30事業所を認証。その中でも特に優れた取り組みが認められた4事業所を表彰しました。 ※詳しくは、ホームページで。



市HP ワーク・ライフ・バランス 検索

23 (木・祝)

- ・**エクスカーション** 天浜線を使って直虎ゆかりの地を巡るツアー (主催:天竜浜名湖鉄道株式会社) ※有料
- ・**夜楽** やらまいか大使を囲み、飲みながら、食べながら、語り合うプログラム ※有料

25 (土)

- ・公開セミナー
- ・分科会

※全てのプログラムについて、事前申し込みが必要です。
※内容、登壇者などは変更になる場合があります。
※詳細は、8月下旬ごろに発行するチラシで確認してください。

株式会社 長坂養蜂場

(北区三ヶ日町)

経 営方針を「顧客第一主義」から「従業員第一主義」に転換。福利厚生の実や従業員同士のコミュニケーションを大切にしたら結果が、サービスの質や生産性の向上につながっています。また、女性従業員の意見などにより販売促進キャンペーンを実施するなど、女性の活躍が業績向上につながっています。

職場のみんなは家族
まずは社内に「ぬくもり」を

私たちの取り組みは「ぬくもりある会社をつくりましょう」という経営理念に基づくものです。まずは、働く人の中に「ぬくもり」がなくては、お客さまや周りの人たちに広がっていきません。

スタッフ全員が一つの家族であるという意識で「ぬくもり」あふれる環境をつくり、それが、結果としてお客さまへのサービス向上につながっていく。そんな好循環が生まれているのだと思います。

代表取締役社長
長坂 善人さん



遠鉄システム

株式会社

(中区千歳町)

残

業予定時間に就いて3色(青:定時または2時間以内、黄:3時間以内、赤:3時間以上)のカードを配り、それを机上に掲げて業務量を周囲に情報発信。「残業の見える化」をすることで、業務負荷のバランスを保ち、偏りが生じないように配慮しています。



取締役総務部長
前田 一吉さん



自分の仕事について

意識するきっかけに

「残業の見える化」をしたことで、社員一人一人が、自分の仕事の仕方を意識するようになったと思います。社員が上司からカードを受け取る際には、時間と業務内容を申告することで、仕事の見通し、計画を意識しますし、上司は、その残業が本当に必要なものであるかを確認することができます。効率的に仕事をするには、どうしたら良いか、職場全体で考えるきっかけになった取り組みです。

有限会社 益山

(天竜区二俣町二俣)

繁

忙期以外の時期は、ほとんどの土・日曜日を休日とし、長期休暇は事前に通知。長期休暇の前後には有給を加えて休みを長くするなど、休暇の有効活用を実現しています。また、ファミリーレストランでミーティングを行うなど、コミュニケーションの促進を図り、従業員の定着や業績の向上につながっています。

仕事は短時間で集中
休むときには休むことが大切

土木業界は不定休が多く、休める日が、あらかじめ分からないことが多いです。そこで、年間の休暇予定を事前に社員に周知して、それに向けて仕事のスケジュールを立てられるようにしました。

休みが増えるということは、仕事の時間が短くなり、その分集中力が求められます。しかし、休む時には休み、仕事は集中して行うというメリハリが、結果として効率を上げているのだと思います。

代表取締役
間宮 洋樹さん



女性の活躍と働き方改革を考えるサミットを開催します！

NAOTORA女性サミット ~あなたの一歩が未来をつくる~

参加無料

開催日

11/23 (木・祝)・24(金)・25(土)

会場 アクトシティ 大ホール ほか

主催 NAOTORA 女性サミット実行委員会

(☎ 456-3150 平日:午前9時~午後5時)



出世法師
直虎ちゃん

24(金)

- ・基調講演 テーマ:「女性と仕事と時代」 講師:白河桃子さん(働き方改革実現会議 民間議員)
- ・パネルディスカッション 登壇者:中林美恵子さん(早稲田大学教授)、磯田道史さん(国際日本文化研究センター准教授)、白河桃子さん、鈴木康友市長
- ・トークショー 講師:塚本こなみさん(はままつフラワーパーク理事長)、金谷かほりさん(演出家) ほか